

「第 8 回村岡公民館再整備建設検討委員会」 の開催結果について(お知らせ)

第 8 回村岡公民館再整備建設検討委員会を開催いたしましたので、結果について皆様にお知らせいたします。

【開催概要】

- 日 時 2019年2月22日(金)
議 題 (1) 村岡公民館等再整備基本構想(案)について
(2) 平成31年2月藤沢市議会子ども文教常任委員会における
質疑状況について

【議事の内容】

1 村岡公民館等再整備基本構想(案)について

< 想定事業スケジュール >

平成31年度

- ・用地取得のための測量など設計に必要な各種調査や関係機関との調整を行います。

平成32年度

- ・用地取得、地質調査を行います。
- ・建築の基本設計や盛土部分の造成設計に着手します。

平成33年度

- ・実施設計に着手します。

平成34年度

- ・造成工事に着手します。
- ・実施設計の完了後、早期に建設工事に着手します。

< 検討委員会における主な質疑応答 >

委 員： 実施設計期間を1年間以上設けているが、そこまで期間を要するものなのか。仮に造成工事が早く完了した場合、建築工事も前倒しすることが可能なのか。

事務局： 実施設計は造成工事と調整しながら進める必要があるため、造成工事完了後まで期間を設ける必要がある。造成工事が早く完了すればその分、建築工事に早く着手できるが、造成工事が短縮されることはあまり考えられない。

委 員： 現段階で見込んである事業費は毎年見直しされるのか。完成時点での事業費ということになるのか。

事務局： 現在見込んである事業費は地質調査を行っていない中でのものとなっており、基本設計や実施設計を行っていく中で具体的な条件が整理され、定まる予定である。

委員： 事業費の中に消防分団器具置き場の費用は見込まれているのか。

事務局： 建物としては公民館とは別棟となる計画だが、全体事業費の中に含めている。

委員： 浸水対策として5つの案が示されているが、どの案を採用するか確定しているのか。

事務局： 確定はしていない。複数の対策を組み合わせた案を採用することも考えられるが、詳細は設計段階において定まっていく。

委員： 追加用地の活用方法についてはどのように考えているのか。

事務局： 現段階では定まっていない。駐車場として利用することなどを含め検討していく。

2 平成31年2月藤沢市議会子ども文教常任委員会における質疑状況について

<質疑事項>

- 「特定都市河川浸水被害対策法」の適用流域であることに関する検討について
- 雨水貯留施設の設置に伴う事業費について
- 事業総額コスト、生涯維持コストそれぞれの面における評価について
- 近隣住民への説明状況、新施設における車利用のシミュレーションについて
- 浸水情報の情報源について
- 浸水対策をとる必要性について
- 木材利用の推進について
- ワークショップの運営主体について
- ワークショップへ参加しやすくするための工夫や配慮について
- 建設検討委員会の傍聴者や地域市民の意見を聞くための工夫について
- 市の「中期財政フレーム」における金額と基本構想における概算費用の関係について
- 完成時期について
- 村岡新駅周辺まちづくりとの関連について
- 新施設完成後の現公民館の活用方針と地域への説明について
- 飲食スペースを含め、居場所的役割が求められる今後の公民館のあり方について

《検討委員会におけるその他の主なご意見》

- 現在のロビーは夜間に照明が消えていることがあり、利用しづらいため、市役所本庁舎の1階のように明るく訪れやすいように運営してほしい。
- 可能であれば食事を提供できる場所を設けてほしい。調理室を作るようであれば、隣に会議室を設けて、隣で飲食することができればよいと思う。

※ 今年度の建設検討委員会は今回をもって終了します。
来年度も必要に応じて本検討委員会を開催し、情報提供等を行います。

【問い合わせ先】

藤沢市役所 村岡公民館 電話 23-0634

※村岡公民館建設検討委員会は、公開で開催しています。

※傍聴をご希望の方は、事前申込みとなっております。

※第1回から第6回までの「お知らせ」は村岡ポータルサイトに掲載しています。

URL/<http://muraoka.ecom-plat.jp/>

村岡公民館等再整備基本構想（案）[概要版]

1. 基本構想策定の背景

施設の老朽化	・1966年（昭和41年）に建設され、耐震改修及び増改築を経て52年が経過しています。
施設が狭小等	・貸出スペース及び駐車場のほか、事務スペースも不足しています。またバリアフリーへの対応も十分ではありません。
施設複合化	・藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき、地区内の公共施設を含めた複合化を図ります。

2. 基礎調査（市民・利用者ニーズの把握）

・新たな公民館に望むことを中心に市民・利用者の意向を調査しました。

ワークショップ	アンケート調査
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代ワークショップ →「乳幼児連れ来館者の利便性を考慮」「バリアフリーへの配慮」等 中学生ワークショップ →「公民館に人が集まれる場所（子どもたちの居場所を含む）や機会を」「公民館が情報発信地となるように」等 	<ul style="list-style-type: none"> 村岡地区内の住民（1,085人/3,000人） 公民館利用サークル（298人/650人） →重要だと思われるもの…「駐車・駐輪スペース」「災害対策機能」「図書室機能」「健康増進・体育室機能」等

3. 基本理念・基本方針

・公民館の基本的機能として挙げられる「つどい」「まなび」「むすび」の3つのポイントに、地域の要望やワークショップ、アンケート等の意見を反映して、以下の5つを新施設整備の基本方針とします。

基本理念
みんなが気軽に訪れ 支え合い 絆を育む 安全・安心で明るい公民館

つどい	にぎやかで明るく、居心地の良い空間を目指すとともに、自ら積極的に活動できる住民の拠点を作ります。
まなび	子どもから大人まで、世代に合わせた学びの機会や、利用形態に合った活動スペースを提供します。
むすび	地域住民、団体間のネットワーク化を支援する場を提供します。また、地域情報の発信源となることを目指します。
安全・安心	すべての人をやさしく迎え入れられ、困ったときに相談できる施設とします。また、災害時には防災拠点・避難所となることで、人々の安全・安心の拠り所とします。
育む	子どもから大人まですべての人にとっての育みの場、新たな地域の担い手や郷土愛を育む場とします。

基本事項の整理

計画地所在地	神奈川県藤沢市村岡東1-5-8の一部他
敷地面積	約5,600㎡
区域区分	市街化区域
防火地域及び準防火地域	なし
用途地域	準工業地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
宅地造成工事規制区域	あり
道路斜線	1.5
隣地斜線	31m+2.5
日照制限	高さ10m超え(4m/4時間/2.5時間)
景観水系の河川の氾濫による浸水想定水位	2m未満* (想定最大規模)
緑化率	20%以上

※…出典：国土交通省 地点別浸水リスクマップ検索システム（浸水花）

4. 機能検討の方向性

- ### 機能・配置の方向性
- **エントランス**
メインエントランスは事務室に面して設けることで、利便性やセキュリティに配慮します。
 - **市民図書室**
十分な書架、閲覧スペース、通路幅の確保に努め、利用のしやすさに配慮した計画とします。
 - **体育室・ホール**
新たに体育室を設けバレーボール等が行える計画とします。ホールは既存施設と同様に舞台を設け演劇やコンサート等に利用できる計画とします。2階以上に設け災害時には避難場所となります。
 - **地域包括支援センター**
福祉相談室や事務室と近接させるとともに、利用者が訪れやすい位置に配置します。
 - **防災備蓄倉庫**
災害時に避難所となる体育室やホール、また地区防災拠点本部機能との連携に配慮した計画とし、浸水対策を施します。

- ### 施設計画の配慮事項
- **施設の長寿命化**
社会情勢に応じた施設運用
ライフサイクルコストの低減
 - **環境への配慮**
環境負荷低減
自然エネルギーの活用
 - **ユニバーサルデザイン**
すべての人々が安心して利用できる
 - **安全性の確保**
耐震性・耐浸水性の確保
防災拠点としての機能整備
 - **木材の利用**
内装等への木材利用に努める

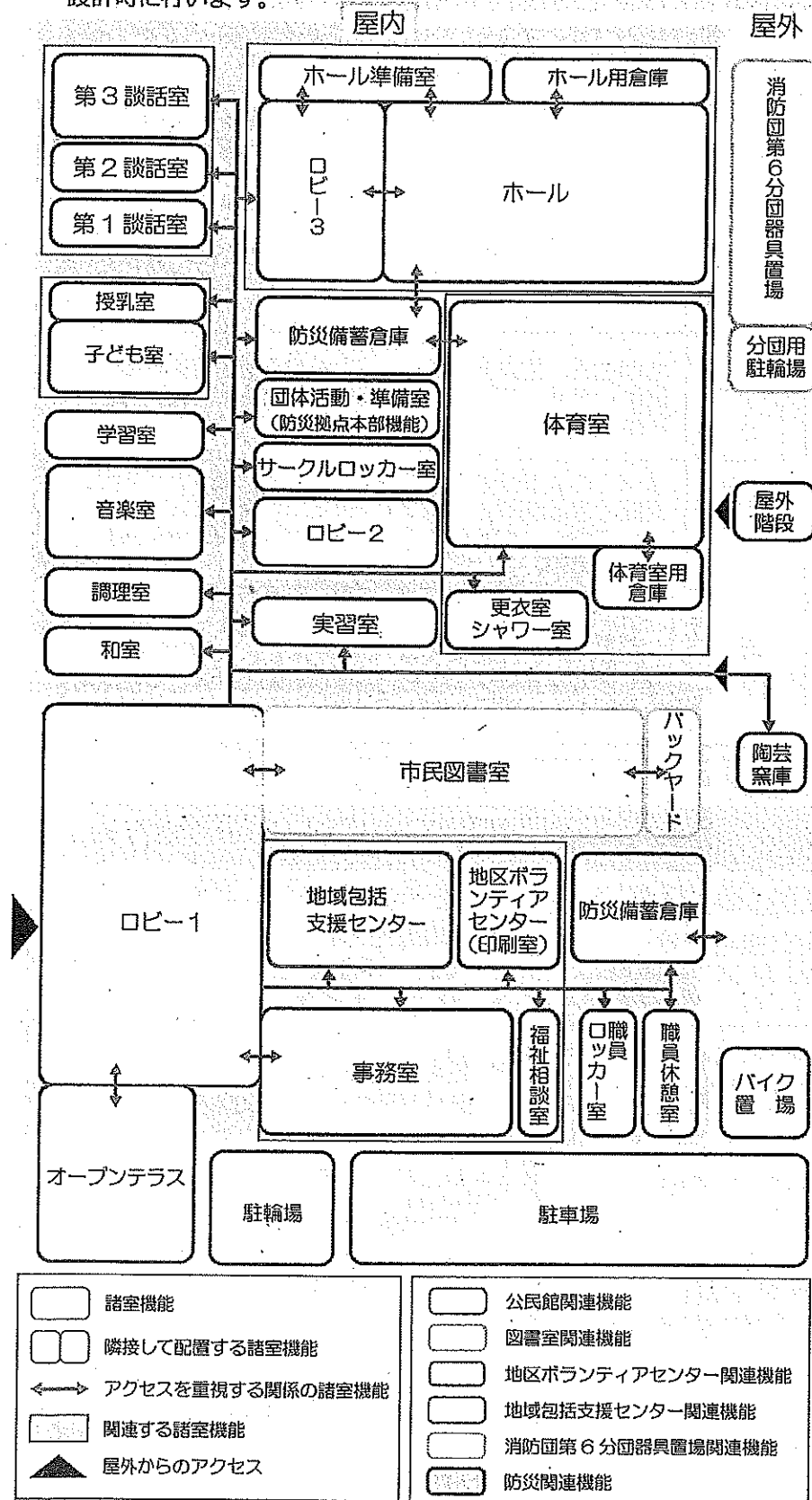
事業実施計画（想定）

- **概算工事費**
概算工事費は約32~36億円を想定しています。
- **事業スケジュール**
概ね下図のようなスケジュールを想定しています。

	2019	2020	2021	2022	2023
基本構想	[実施]				
各種調査・調整	[実施]				
用地取得	[実施]				
計画地内取捨道路撤去等	[実施]				
地質調査	[実施]				
基本設計	[実施]				
実施設計	[実施]				
計画通知	[実施]				
造成設計	[実施]				
詳細設計	[実施]				
造成工事	[実施]				

村岡公民館等再整備基本構想（案）[概要版]

※諸室の機能的なつながりを表す図です。実際の諸室の配置検討は基本設計時に行います。



5 諸室等の面積・機能

※今後、設計段階において詳細な検討を行い、変更になる場合があります。

階	諸室名	面積 (㎡)	整備方針
3階	ホール・倉庫・映写室	370	講演会や大人数の集会等に利用できる計画とします。
	ホール準備室	35	舞台袖へ直接出入り出来る配置とします。
	第1 談話室	70	規模の大きい第3 談話室は、可動間仕切りで区切ることで、様々な利用形態、利用人数に合わせて規模を調整できる計画とします。
	第2 談話室	70	防音に配慮した計画とします。
2階	第3 談話室	120	防音に配慮した計画とします。
	学習室	55	講座や講習会、会議など学びのスペースとして計画します。
	子ども室	60	小さな子どもと保護者のための空間として計画します。
	授乳室	15	子ども室の利用者に配慮した計画とします。
	防災備蓄倉庫2	50	「食料」や「毛布」等を備蓄します。
	調理室	65	「調理実習」や「食育学級」などに利用できる計画とします。
	実習室	55	「陶芸・工作」などに利用できる計画とします。
	団体活動・準備室 (防災拠点本部機能)	50	地域団体等の会議に利用するなど団体活動の支援の空間となります。災害時は地区防災拠点本部機能として利用します。
	音楽室	110	「演奏・合唱」や「ダンス」などに利用できる部屋とします。
	和室	70	「舞踏・華道」などに利用できる部屋とします。
	体育室・倉庫	600	バレーボール1面、バドミントン2面相当の規模の計画とし、倉庫などを設けます。
更衣室	40	男女別に設け、シャワーブースを設けます。	
サークルロッカー室	25	サークル利用諸室の多い2階に配置します。	

階	諸室名	面積 (㎡)	整備方針
1階	市民図書室	140	通路の幅員を広げ人々がすれ違いやすく、閲覧しやすくする等、快適に利用できるよう配慮した計画とします。
	地域包括支援センター	50	福祉相談室に近接した配置とします。
	福祉相談室	15	地域包括支援センター等に近接した配置とします。
	地区ボランティアセンター (印刷室)	30	包括支援センター等に近接した配置とします。
	職員休憩室	40	-
	清掃員控室	20	-
	職員ロッカー室	20	-
	防災備蓄倉庫1	50	「組立て式トイレ」等を備蓄します。
	事務室	100	利用者の安全性や安心感、利便性に配慮し、エントランスやロビーに面して設ける計画とします。
	共用	ロビー	-
共用	トイレ	-	ユニバーサルデザインに配慮します。
屋外	倉庫	-	各階に設けます。
	オープンテラス	35	人々の憩い・交流のスペースとします。
	消防団第6分団器具置場	80	1階部分は浸水対策を施します。
	陶芸窯庫	15	実習室との連携に配慮した配置とします。
	駐輪場	-	32台程度 (内1台は車いす利用者駐輪場) 設けます。
	バイク置場	-	15台程度設けます
	駐輪場	-	60台程度設けます

① 駅前への近接施設に対する配慮
本計画地南側の鉄道に対して、地盤や施設の姿により列車の運行に支障を与えないよう対策を施す必要がある。可能な限り距離を確保することで影響を軽減するように配慮する。

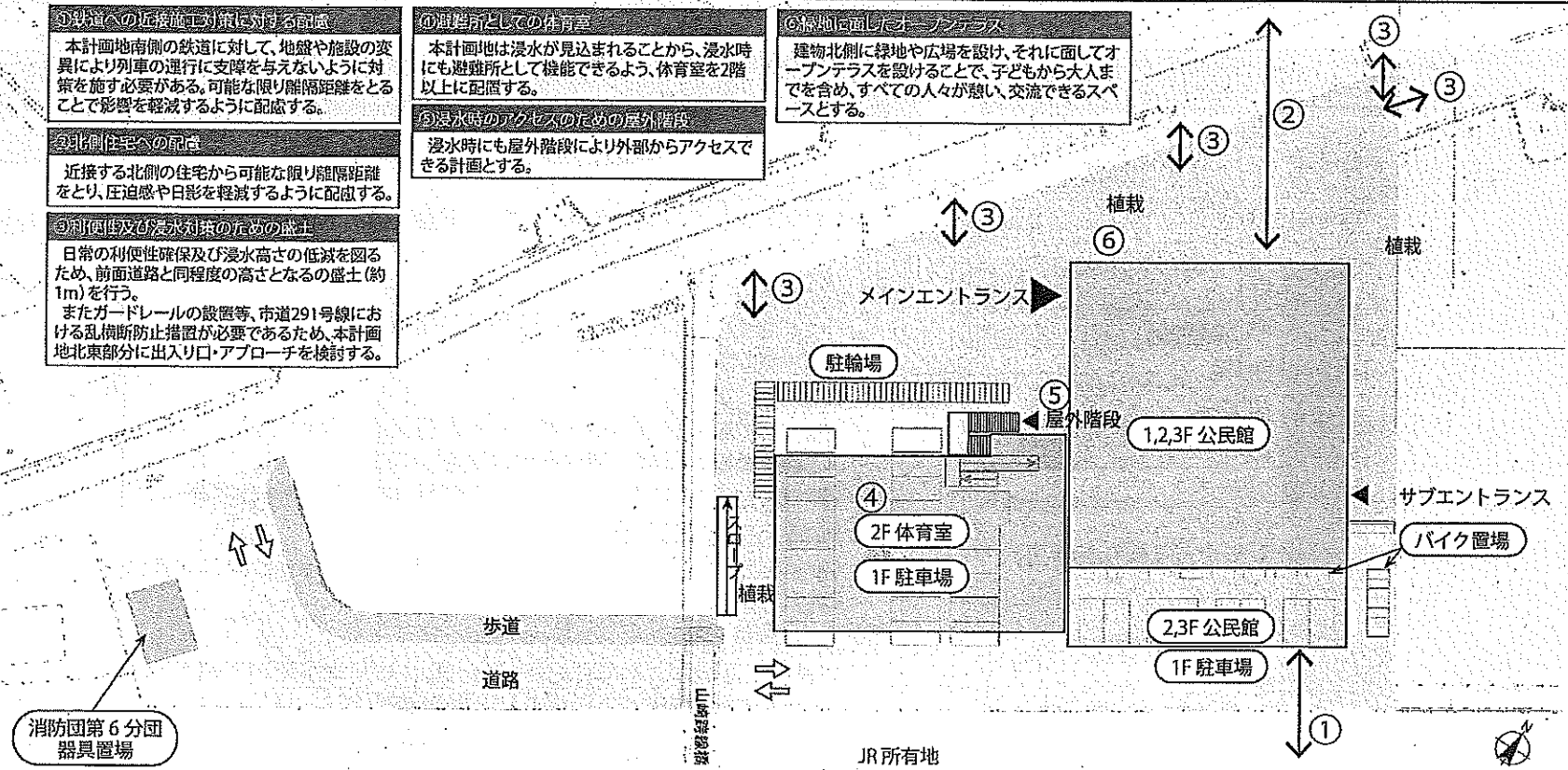
② 駅前住宅への配慮
近接する北側の住宅から可能な限り距離を確保し、圧迫感や日影を軽減するように配慮する。

③ 利便性及び浸水対策のための盛土
日常の利便性確保及び浸水高さの低減を図るため、前面道路と同程度の高さとなるの盛土(約1m)を行う。またガードレールの設置等、市道291号線における乱横断防止措置が必要であるため、本計画地北東部分に出入り口アプローチを検討する。

④ 遊憩所としての体育室
本計画地は浸水が見込まれることから、浸水時にも避難所として機能できるよう、体育室を2階以上に配置する。

⑤ 浸水時のアクセスのための屋外階段
浸水時にも屋外階段により外部からアクセスできる計画とする。

⑥ 緑地に面したオープンテラス
建物北側に緑地や広場を設け、それに面してオープンテラスを設けることで、子どもから大人までを含め、すべての人々が憩い、交流できるスペースとする。



※今後、設計段階において詳細な検討を行い、変更になる場合があります。 2019年(平成31年)3月作成